

令和4年度
狭山市立南小学校

目指す学校像

児童一人一人を伸ばす学校「ルール チームワーク ベスト」



学校経営方針

- 「ルールを守る」ことは何のためかという意味を児童も教職員も理解する。
 - ・教育活動をするうえで、そして将来の社会生活を送るための基盤となる。
 - ・自他ともに気持ちよく生活することができ、居心地のよい生活空間の構築につながる。
 - ・「自分がされていやなことは人にしない」という他人への思いやりが根底。
- 「チームワークをつくる」ことは自分も他人も大切に生かすこと。
 - ・チームの中で自分の強みを生かし、自身の役割を果たすことによりチームも強くなる。
 - ・チームワークがつくられると目標に向かって集団と個の力が相互作用で伸びていく。
 - ・チームの一員としての自覚と責任が個の安心した所属感や自己有用感等につながる。
- 「ベストをつくす」ことは昨日の自分に負けないで一步成長することにつながる。
 - ・力の出し惜しみをせず、ベストをつくす習慣をつけることで個の力が磨かれる。
 - ・ベストをつくす経験を繰り返すことで、自信をもって行動できるようになる。
 - ・何事にもベストをつくすことによって、無限の可能性を開くことができる。

学校教育目標

考える子 仲よくする子 働く子

目指す児童像

みんななかよくみがきあう 児童

・ルールを守る ・チームワークをつくる ・ベストをつくす

目指す教師像

- ◇ 児童一人一人を認め・励まし・伸ばす教師 ◇
 - ・心身ともに健康で明るく、組織的に活動できる教師
 - ・自ら学び続け、児童の前に笑顔で立てる教師
- ◇子供にとって教師は最大の教育環境である。
- ◇すべては子供のために。
- ◇信じ抜く・ありのままを受け入れる・励まし続けるどこまでも支える・心をつなぐ。
- ◆たくましく未来を切り拓いていくために、見えない学力を意識して育成する。
 - ・人を大切にする力・自分の考えをもつ力
 - ・自分を表現する力・チャレンジする力

南小 3あ運動
あいさつ
あんぜん
あとかたづけ

リーダー像
「先生にたよらない」
「いやな仕事は自分でする」
「文句を意見に変える」

南小 教師の3あ
「あわてず あせらず あきらめず」

本年度の指導の重点・努力

1 安心安全な学校づくりの推進

新型コロナウイルス等感染症予防対策の継続、通学班の安全指導の徹底、自転車の安全な乗り方、安全点検の確実な実施

2 基礎・基本の徹底

基本的な生活習慣の定着（3あ運動の推進）、「学力向上茶レンジプラン」の活用、基礎的・基本的な学習の内容の定着、道徳科指導と特別活動の充実

3 研修の充実

G I G Aスクール構想の実現、自他ともに大切にできる児童の育成を目指した研修、研修機会の確保と工夫

4 生徒指導・教育相談の充実

確実な情報共有と迅速な対応、さやまっ子相談支援員・スクールカウンセラーの訪問相談、わかば学級との交流推進、Q-U検査の有効

5 開かれた学校づくり

地域の教育力（学校運営協議会）の積極的な活用、適時に適切な情報発信（ホームページやメールの工夫）

6 異校種との連携充実

保幼小との積極的な連携・情報交換、小中の積極的な連携・情報交換（入間野中・入間野小）